

益田市温泉施設あり方調査・検討業務仕様書

1 目的

益田市においては、美都温泉及び匹見峡温泉の両施設が建設から30年程度を経過し、施設・設備の老朽化が進行している状況にある。また、地域における人口減少や利用者数の減少といった社会環境の変化も進んでおり、今後も持続的に施設を維持・運営していくためには、新たな視点からの見直しが求められている。

一方で、これらの温泉施設はこれまで地域振興や観光拠点として重要な役割を果たしてきた経緯があり、その整備背景や地域における機能・価値を踏まえた検討が求められている。

本業務により、両温泉施設の現状（施設状況、利用実績、運営コスト等）について客観的かつ定量的なデータを整理・分析し出された複数の検討案から、市において今後の施設のあり方についての方向性を決定するものである。

2 契約期間

契約の日から令和9年3月31日まで

3 業務内容

本業務は、対象施設の現状把握および課題整理を踏まえ、今後の温泉施設のあり方について方向性を検討するものであり、業務内容は概ね以下のとおりとする。

なお、具体的な調査・分析手法については、受託者の提案によるものとする。

- (1) 施設の現状と課題整理
- (2) 施設及びサービスの評価
- (3) 類似事例の調査
- (4) 温泉施設のあり方検討
- (5) 関係者意見の聴取
- (6) 検討委員会の運営支援
- (7) 打合せ協議

(1) 施設の現状と課題整理

対象施設について、施設状況、利用実態、運営状況等の観点から現状を整理するとともに、施設整備の経緯やこれまで地域において果たしてきた役割・機能を踏まえ、課題を抽出する。

(2) 施設及びサービスの評価

施設（ハード面）およびサービス（ソフト面）について、利用者視点や運営面の観点を含めて総合的に評価する。

(3) 類似事例の調査

他自治体等における類似施設の運営事例を調査し、本市への適用可能性を整理する。

(4) 温泉施設のあり方検討

現状および課題、事例調査等を踏まえ、複数の視点・条件設定のもとで今後の施設のあり方について検討を行う。

また、費用や事業性の観点を含めた比較検討を行い、望ましい方向性を整理する。

※検討の視点・手法等は提案による

(5) 関係者意見の聴取

地域住民、利用者等の意見を把握し、検討に反映する。

※手法（アンケート、ヒアリング等）は提案による

(6) 検討委員会の運営支援

検討委員会の運営支援として、資料作成、議事録作成等を行う。

※検討委員会は令和8年10月以降に開催予定

(7) 打合せ協議

業務の進捗に応じて必要な協議を行う。

4 成果品

本業務の成果品は次のとおりとする。

- | | |
|------------------|----|
| (1) あり方検討案（中間成果） | 一式 |
| (2) 調査・検討報告書 | 一式 |
| (3) 概要版 | 一式 |
| (4) 上記電子データ | 一式 |